

環境経営レポート

〈対象期間：2023年2月1日～2024年1月31日〉



株式会社 永井工業所

発行日：2024年4月19日



認証番号0011334

私たちのソリューション



目次

1. 組織の概要	...	P.3
2. 対象範囲	...	P.3
3. 環境経営方針	...	P.4
4. 実施体制	...	P.5
5. 環境経営目標及び実績	...	P.6
6. 環境経営計画と取組結果	...	P.7
7. 各エネルギーのCO2排出量推移	...	P.8
8. プラスチック類排出量の推移	...	P.9
9. 環境関連法規等の遵守状況	...	P.10
10. 代表者による全体評価と 見直しの結果	...	P.10
11. その他の取組の紹介	...	P.11

1. 組織の概要

(1) 事業所名

株式会社永井工業所

(2) 代表者氏名

代表取締役 永井 賢一

(3) 所在地

本社工場：長野県上高井郡小布施町大字雁田438

(4) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者(正)	永井 賢一	電話番号 026-247-2521
環境管理責任者(副)	持田 勇	電話番号 026-247-2521
担当者	蓮實 政広	電話番号 026-247-2521

(5) 事業の規模

売上高	284 百万円 / 58期 (2023年度)
従業員数	33人 (2024年1月31日現在)
延べ床面積	1,728m ²

(6) 事業年度

2月～翌年1月

2. 対象範囲

(1) 対象組織

株式会社永井工業所

(2) 対象事業所

本社工場：長野県上高井郡小布施町大字雁田438

(3) 事業内容

プラスチック成型品の製造

3. 環境経営方針

＜環境経営理念＞

地球環境の改善は地球上の全生命のために我々が果たさなければならない最重要課題です。この認識に基づいて、当社の事業活動から発生する環境負荷物質の排出量の削減と、環境に対する負荷行為を無くし、より良い環境を創る活動を行うことを基本理念としております。

＜環境保全への行動方針＞

当社はプラスチック成形品の製造を事業活動としておりますが、その製品・サービスにおいて下記を重点事項として行動します。

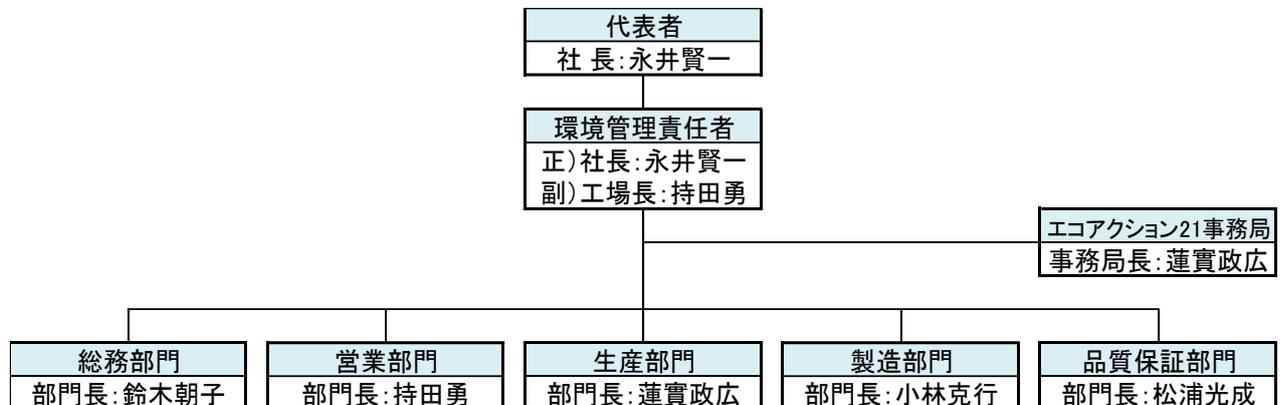
1. 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
2. 廃棄物排出量の削減に努めます。
3. 節水に努め、水使用量の削減に取り組みます。
4. 資源の再使用や再生利用を積極的に行い、循環型社会構築を推進します。
5. 社員全員で環境保全活動に取り組み、製品・サービスを含めた環境経営システムの継続的改善を図ります。
6. 人体及び環境に悪影響を及ぼす化学物質の使用量抑制に努め、その管理を徹底します。
7. 当社に関係する環境関連法規制やお客様と約束したことを遵守します。

制定日：2018年2月1日

代表取締役社長 永井賢一

4. 実施体制

(1) 組織図



(2) 役割分担

		役割・責任・権限
代表者(社長)		<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システム全般に関する責任と権限をもつ。 環境経営システムの実施に必要な経営資源、もの、資金、情報を準備する。 環境経営方針を策定し、全従業員へ周知する。 環境管理責任者及びエコアクション21事務局長を任命する。 環境経営目標・環境経営計画書を承認する。 エコアクション21全体の評価と見直しを行い、従業員に指示する。 環境経営レポートを承認する。
環境管理責任者		<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システム全般を管理する。 環境関連法規等の調査票を承認する。 環境経営目標・環境経営計画書を照査する。 環境経営レポートを照査する。
エコアクション21事務局長		<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標や環境経営計画を立案し、その実行を推進する。 環境管理責任者や各部門長と連携し、計画の進捗状況を把握し、記録する。 環境への負荷の自己チェックを実施する。 環境への取組の自己チェックを実施する。 環境経営レポートを作成し、地域事務局へ送付する。 環境関連法規等の調査票を作成する。 環境関連の外部とのコミュニケーション窓口を請負う。
部門長	全部門共通	<ul style="list-style-type: none"> 購入電力使用量の削減に努める。 5S活動を推進し、作業効率化を図る。 法令に基づく廃棄物の適正処置を行う。
	総務部門	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入比率の向上を進める。 廃棄物請負業者を選定し、管理する。
	営業部門	<ul style="list-style-type: none"> 社用車両や冷暖房装置の維持管理と、化石燃料調達先の最適化を図る。 エコドライブによる効率的な営業活動に努める。
	生産部門	<ul style="list-style-type: none"> 生産の効率化を図り、必要に応じた材料購入に努める。 適正な配送業務を管理する。
	製造部門	<ul style="list-style-type: none"> 再生材プラスチック使用量の向上に努める。 適切なインフラ管理を行う。
	品質保証部門	<ul style="list-style-type: none"> 不良率低減による廃棄物の削減を図る。 ペーパーレス化を推進する。
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営システムへ参加する。

5. 環境経営目標及び実績

項目	年度	基準年			今期		備考			
		55期	56期	57期	58期					
		(2020/2~2021/1)	(2021/2~2022/1)	(2022/2~2023/1)	(2023/2~2024/1)					
		実績	実績	実績	目標	実績				
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	実使用量 kWh	371,174	470,917	442,040	原単位当たりでの目標設定	354,965	調整後CO2排出係数: 0.411kg-CO2/kWh (日本7ヶ国/2018年度)		
		CO2実排出量 kg-CO2	169,233	193,547	181,678		145,891			
		原単位当たりの使用量 kWh/原単位	1,842	1,481	1,483		1,617		1,543	
		原単位当たりのCO2排出量 kg-CO2/原単位	675.01	608.64	609.65		661.42		631.31	原単位は電気使用量が関係する売上高
		基準年比	-	-9.8%	-9.7%		-1.5%		-6.5%	
	ガソリン使用量の削減	実使用量 L	1,470	457	998	原単位当たりでの目標設定	1,091	CO2排出係数: 2.32 kg-CO2/L		
		CO2実排出量 kg-CO2	3,410	1,060	2,316		2,531			
		原単位当たりの使用量 L/原単位	31.96	24.10	35.66		31.72		19.45	原単位はガソリン使用量が関係する売上高
		原単位当たりのCO2排出量 kg-CO2/原単位	74.14	9.30	82.73		73.58		45.12	
		基準年比	-	-87.5%	11.6%		-1.5%		-39.1%	
	軽油使用量の削減	実使用量 L	4,378	4,715	4,650	重点管理による監視項目の為、目標設定は割愛	4,777	CO2排出係数: 2.58 kg-CO2/L		
		CO2実排出量 kg-CO2	11,295	12,165	11,996		12,325			
		原単位当たりの使用量 L/原単位	39.44	32.74	33.45		46.00		原単位は軽油使用量が関係する売上高	
		原単位当たりのCO2排出量 kg-CO2/原単位	101.76	84.48	86.30		118.69			
		基準年比	-	-17.0%	-15.2%					16.6%
	灯油	実使用量 L	1,914	1,648	1,610		1,586	CO2排出係数: 2.49 kg-CO2/L		
		CO2実排出量 kg-CO2	4,766	4,104	4,009		3,949			
	液化石油ガス(LPG)	実使用量 kg	10	8	12		15.51	CO2排出係数: 3.00 kg-CO2/kg		
		CO2実排出量 kg-CO2	29	24	37		47			
		【参考】CO2総実排出量合計 kg-CO2	188,734	210,900	200,037		164,742			
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物(焼却分)の削減	排出量 kg	701	936	939	699	690		
基準年比			-	33.5%	34.0%	-0.30%	-1.6%			
【参考】再生利用分の排出量 kg		694	887	1,081		850				
【参考】焼却分と再生利用分の総量排出量 kg	1,395	1,823	2,020		1,540					
水使用量の削減	水使用量の削減	実使用量 m ³	556	582	1,545	554	803			
		基準年比	-	4.7%	177.9%	-0.30%	44.4%			
循環型社会構築の推進	排出プラスチック類での再生利用率向上	排出プラスチック総量 kg	21,756	27,347	25,925	内訳は割愛	22,503			
		内、再生利用分の排出量 kg	16,351	20,532	21,687		18,173			
		再生利用率 %	75.2%	75.1%	83.7%		75.5%	80.8%		
		基準年比	-	-0.1%	8.5%		+0.3%	5.6%		
	【参考】産廃プラスチックの排出量 kg	5,405	6,815	4,238		4,330				
環境保全活動の取組み	ビニール製梱包部材の購入量削減	購入量 kg	1,106	1,385	1,012	1,103	780			
		基準年比	-	25.2%	-8.5%	-0.3%	-29.5%			
化学物質管理	社内の環境負荷物質管理規定に基づく適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理				
環境法規等の遵守	環境法規等やお客様からの基準に基づく維持継続	維持継続	維持継続	維持継続	維持継続	維持継続				

- ※ 目標値の基準は55期(2020年度)実績とする。
 ただしガソリン使用量については、55期がコロナ禍での外出自粛時期であったことを踏まえ、54期(2019年度)を基準とする。
- ※ 電気、ガソリン及び軽油の使用量については原単位当たりでのCO2排出量で評価する。
- ※ 灯油、液化石油ガス(LPG)については環境経営計画に基づく活動はしていないが、CO2総実排出量の把握として内訳を参考記載する。

6. 環境経営計画と取組結果

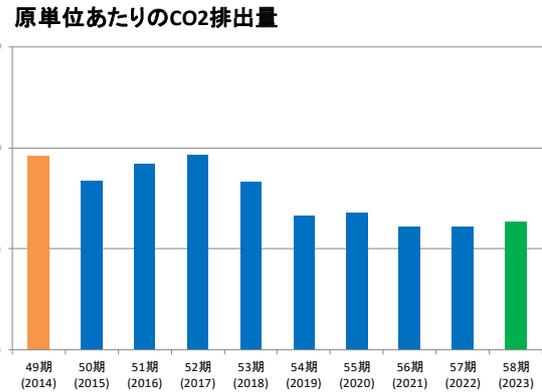
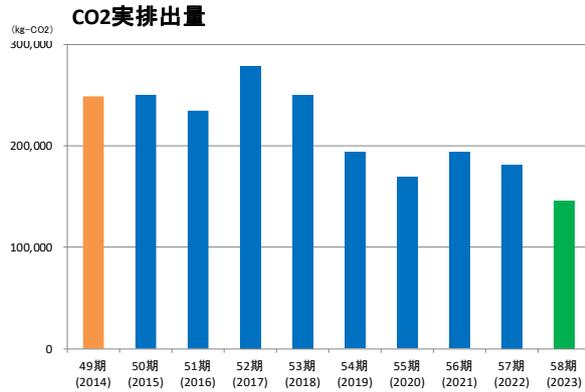
※取組結果の評価基準 … ◎:よくできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった ×:全くできなかった

今年度(58期)の取組内容		今年度(58期)の取組結果の評価	今年度(58期)の取組結果及び次年度(59期)の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減 ・天井照明の昼休み消灯徹底 ・OA機器の省エネ設定推進 ・スーパークールピス、ウォームピスの徹底 ・電力デマンドでの省エネ運用の徹底	総合:◎ ◎ ◎ ◎	実使用量は前年比87,000kWh減であるが、原単位当たりでのCO2排出量は前年より増加してしまつた。 次年度も引き続き活動を維持継続する。
	ガソリン使用量の削減 ・社用車両の走行距離の最適化 ・車両内冷暖房の控え目使用 ・車両整備(定期点検)の実施 ・エコドライブの実施	総合:◎ ○ ◎ ◎ ◎	実使用量・原単位当たりのCO2排出量共に基準値を大幅にクリアする事が出来た。 次年度以降も、効率的な社有車の運用によりCO2排出の削減を目指す。
	軽油使用量の削減 ・適正な配送業務の管理 ・車両内冷暖房の控え目使用 ・車両整備(定期点検)の実施 ・エコドライブの実施	総合:△ △ ○ ◎ ○	実使用量・原単位当たりのCO2排出量共に基準値を達成する事が出来ず。 配送計画の柔軟な運用とエコドライブ・アイドリングストップの徹底により使用量削減を目指す。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物(燃焼分)の削減 ・使用済紙の裏紙使用 ・再生利用分との分別排出の徹底 ・当社の梱包資材として再利用	総合:○ ◎ ◎ ○	基準値に対して9Kg減と達成する事が出来た。 分別リサイクルの徹底で引き続き廃棄物削減を継続する。
水使用量の削減	水使用量の削減 ・節水 ・循環水の水温最適化	総合:× ◎ ◎	循環水配管の不具合もあり目標に対して大幅に未達であった。 循環水配管設備を改善し使用量削減を目指す。
循環型社会構築の推進	排出プラスチック類での再生利用率向上 ・再生材対象材料の分別徹底 ・不良率低減(排出プラ総量削減への取組)	総合:○ ○ ○	再生利用率を達成達成する事が出来た。 再生利用率を維持・向上するとともに、プラスチック全体の排出量削減に向けてのアイデアを考えていく。
環境保全活動の取組み	ビニール製梱包部材の購入量削減 ・使用済ビニール袋の回収/再使用促進 ・小袋類の仕様統合化(最適化)	総合:◎ ◎ ◎	目標を大幅に達成する事が出来た。 ムダの少ない梱包と再利用の促進で梱包部材の使用量を削減する。
化学物質管理	社内の環境負荷物質管理規定に伴う適正管理 ・最新法規制等における妥当性確認 ・保管場所の整備 ・使用量(購入量)、廃棄量(排出量)の管理	総合:◎ ◎ ◎ ◎	適正管理の仕組みづくりを継続。
環境法規等の遵守	環境法規制やお客様からの基準に基づく維持継続 ・最新情報での妥当性確認 ・調査票の作成及び保管	総合:◎ ◎ ◎	適時環境負荷調査に対応。

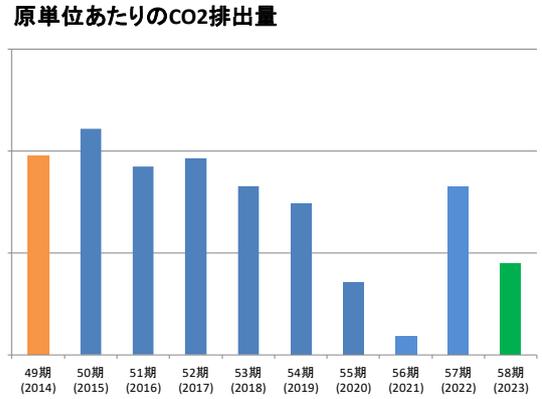
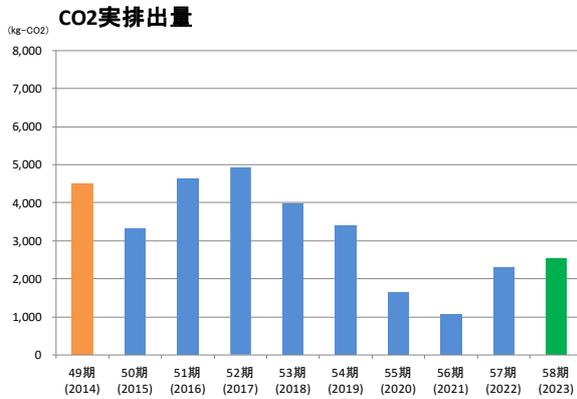
7. 各エネルギーのCO2排出量推移

※49期(2014年度)はエコアクション21認証登録の前年度となります。
 ※各エネルギーで原単位で評価しているものは詳細情報非公開とさせていただきます。

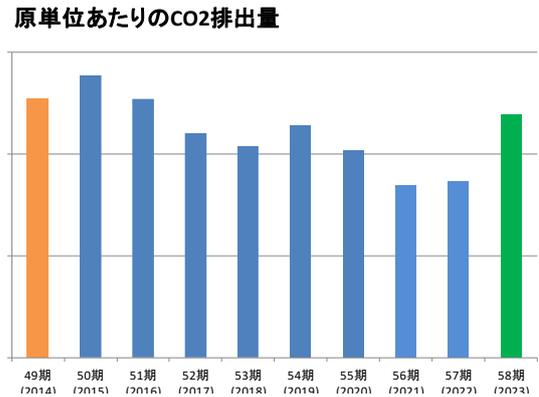
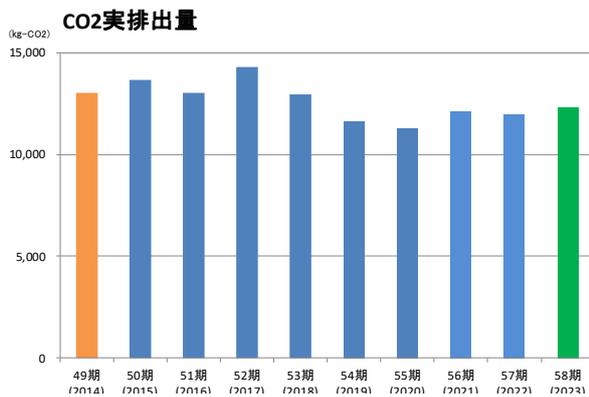
(1) 電力



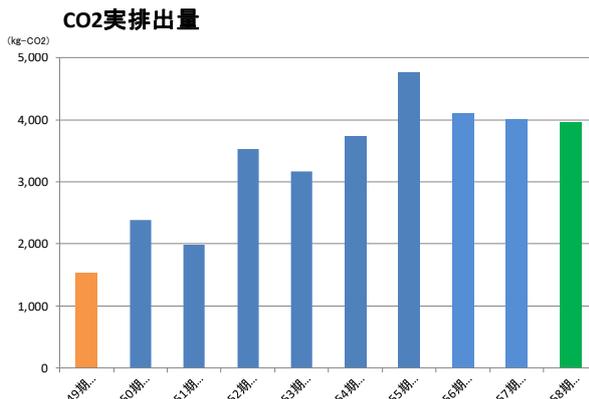
(2) ガソリン



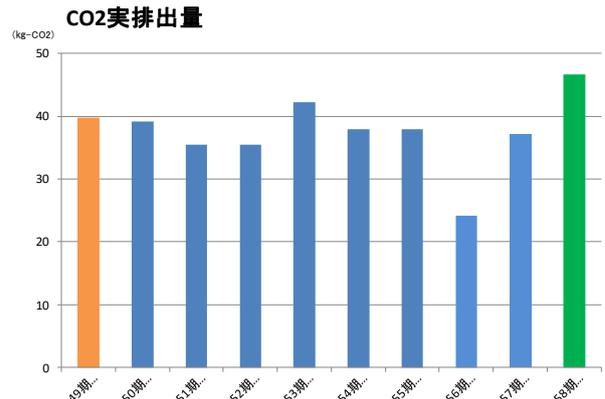
(3) 軽油



(4) 灯油



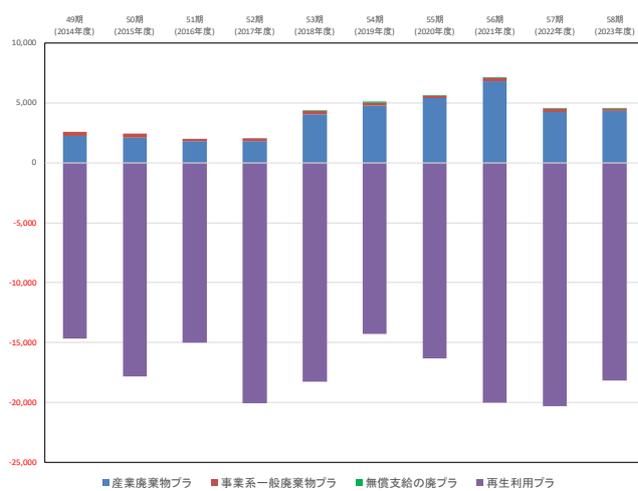
(5) LPG



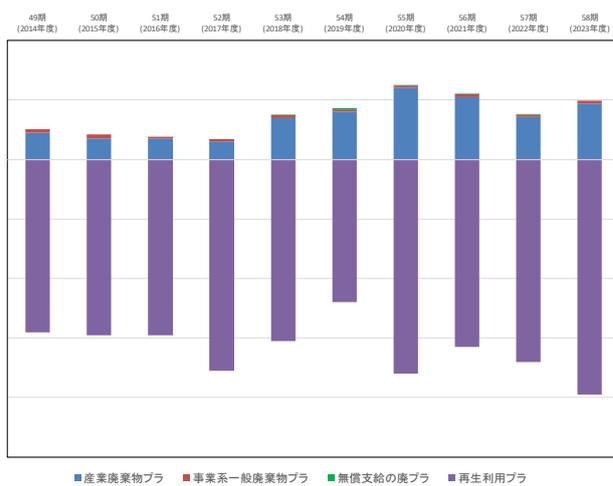
8. プラスチック類排出量の推移

※49期(2014年度)はエコアクション21認証登録の前年度となります。
 ※原単位で表示しているものは詳細情報非公開とさせていただきます。

(1) 実排出量



(2) 原単位当たりの排出量



9. 環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりです。

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	該当する設備・項目
廃棄物処理法	委託基準:一廃収集業者の許可の確認 委託基準:産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約 保管基準 水銀使用製品産業廃棄物の管理 マニフェスト交付 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	事業系一般廃棄物 (紙くず・繊維くず等) 産業廃棄物 (廃油・廃アルカリ・廃プラスチック・木くず・ 金属くず・水銀使用製品産業廃棄物等)
フロン排出抑制法	適切な置場・機器の点検・漏洩防止・点検履歴の保存 フロン漏洩量の算定・報告 充填の委託 回収の委託 廃棄する場合回収業者に委託 引取証明書のない場合報告	業務用空調機・チラーユニット・ エアドライヤー・コンプレッサー
消防法	消防用設備等の設置 消防用設備等の点検	火災報知器・消火器
浄化槽法	浄化槽設置の届出 保守点検・清掃の実施 定期点検(水質検査)の実施 浄化槽の使用廃止	合併浄化槽
家電リサイクル法	適正な廃棄処理	家庭用エアコン・冷蔵庫
小型家電リサイクル法	適正な廃棄処理	パソコン・デジタルカメラ・電源アダプタ
労働安全衛生法	定期自主検査	クレーン

環境関連法規制等は遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されてきました。

なお過去3年間での関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

社員全員の環境意識の高揚により、大多数の目標を達成する事ができました。倦まず撓まず環境意識を更に深め、行動の結果を信じて引き続き活動を続けます。

11. その他の取組の紹介

- 事務所及び管理室のエアコンを省エネタイプに更新しました。
実施時期:2023年8月

* 更新前



営業室



評価室



* 更新後



営業室



評価室

最新型の省エネ性能の高いタイプへ交換することにより、消費電力の低減に寄与するものと考えます。